

JESSと夏季手当等交渉を行う

夏季手当は社員の努力と期待に応え満額回答を!

JESSの現状認識

- ・2022度は、前年度比増収増益により、2億8200万円の黒字となった。
- ・社員の皆さまにはご尽力いただいていることに感謝申し上げます。
- ・2023年度の予測は、全体ではコロナ前の9割の収入に回復すると見込んでいる。
- ・2023年度の業績見込みは、1億4300万円で、22年度の半分。達成は容易ではないと考えている。
- ・社員一人一人がJR東日本グループの顔であるという自覚と誇りを持ち、駅業務サービスの戦略会社として安全と安心してご利用できる駅、地域の皆様に愛される駅を目指し、積極的に挑戦していかなければならない。
- ・要求をしっかり受け止め、業績予想、JR東日本グループを取り巻く環境も踏まえ真摯に議論したい。

その他の要求について(一部掲載)

1. インターホンによる問い合わせが多い一部の駅について1徹1日勤に戻すこと。
2. 一人勤務の駅で、「連絡が付くところにいるように」、「業務用携帯を持っているように」は、休憩時間とは言い難いことから改善すること。

<会社> 休憩時間に指令から駅を呼んだようなケースは、当然出られないという対応でかまわない。やむをえず対応した場合は、超勤扱いや休憩時間の変更でお願いしたい。

3. 女性設備や老朽化したロッカーなどについて、JR東日本とともに改善を図ること。

<会社> 自己負担での改善は仕組み上難しいが、そういう声があることは承知した。

何とかして
欲しいよね!



職場の切実な要求の改善を図れ!